

株式会社ナカニシ

2019年12月期決算説明会

2020年2月26日

免責事項

資料に記載されている情報には、将来の業績に関する見通しが含まれています。これら見通しには不確定要素が含まれており、将来の業績を保証するものではありません。将来の業績は、世界経済の変化や為替相場の変動等により、予想数値とは異なる場合があります。予めご了承下さい。

2019年12月期 連結業績の概要	3
2020年12月期 連結業績の計画	11
市場の状況と今後の施策	15
歯科製品関連事業の概況	19
工業製品関連事業の概況	26
メディカル事業の概況	28

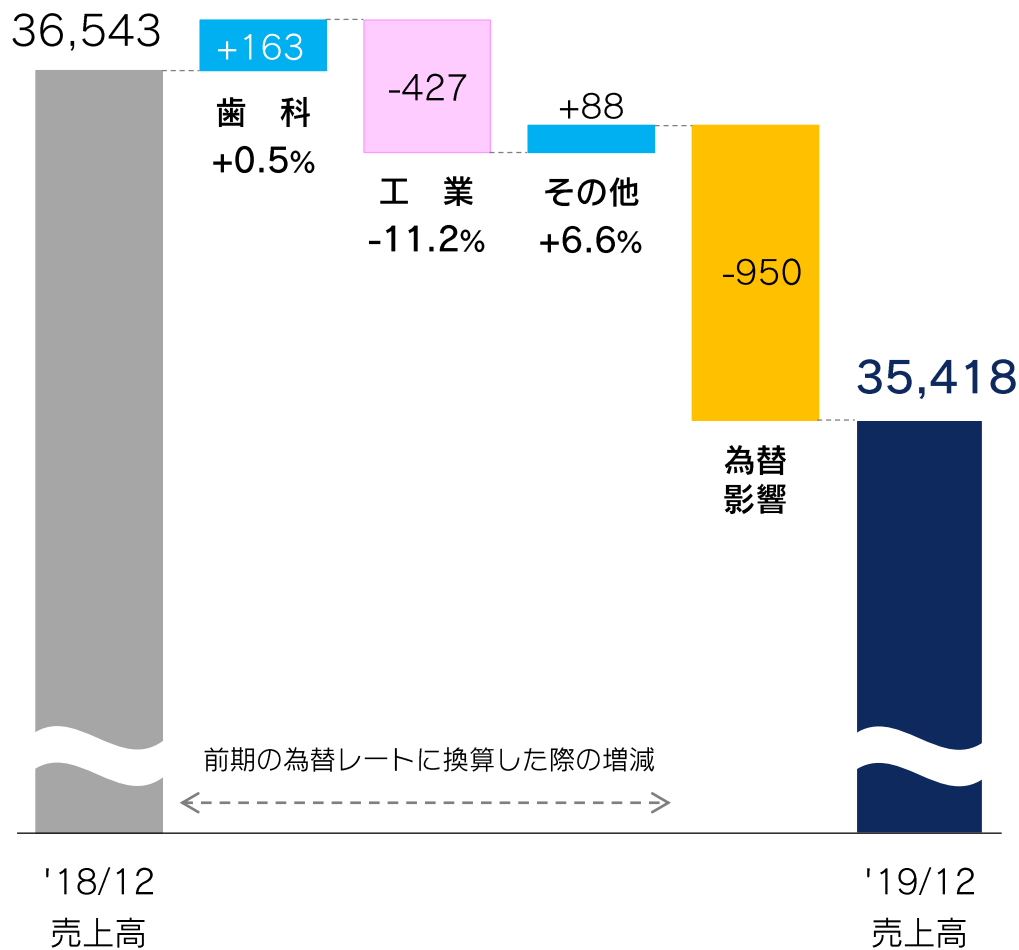
2019年12月期
連結業績の概要

百万円		当期実績 2019/12	前期実績 2018/12	前 期 比	当期計画 2019/12	当期計画比
売 上 高		35,418	36,543	-3.1 %	36,761	-3.7%
売上総利益		21,762	21,692	+0.3 %	22,031	-1.2%
	利益率	61.4%	59.4%	+2.1 pt	59.9%	+1.5pt
営 業 利 益		9,299	9,721	-4.3 %	9,209	+1.0%
	利益率	26.3%	26.6%	-0.3 pt	25.1%	+1.2pt
経 常 利 益		9,841	10,676	-7.8 %	9,548	+3.1%
	利益率	27.8%	29.2%	-1.4 pt	26.0%	+1.8pt
親会社株主に帰属する 当期純利益		7,102	7,588	-6.4 %	6,708	+5.9%
	利益率	20.1%	20.8%	-0.7 pt	18.2%	+1.8pt
E P S	(円)	81.97	87.59	-	77.42	-
為 替 レ ー ト						
- 米ドル	(円)	109.37	110.57	-1.20 (円高)	105.00	+4.37 (円安)
- ユーロ	(円)	122.53	130.39	-7.86 (円高)	120.00	+2.53 (円安)

▶ 為替影響額： 売上高 -950百万円（前期レート比），+578百万円（計画レート比）

▶ 為替感応度： 1円円安による年間売上高の変動 米ドル：74百万円増，ユーロ：73百万円増

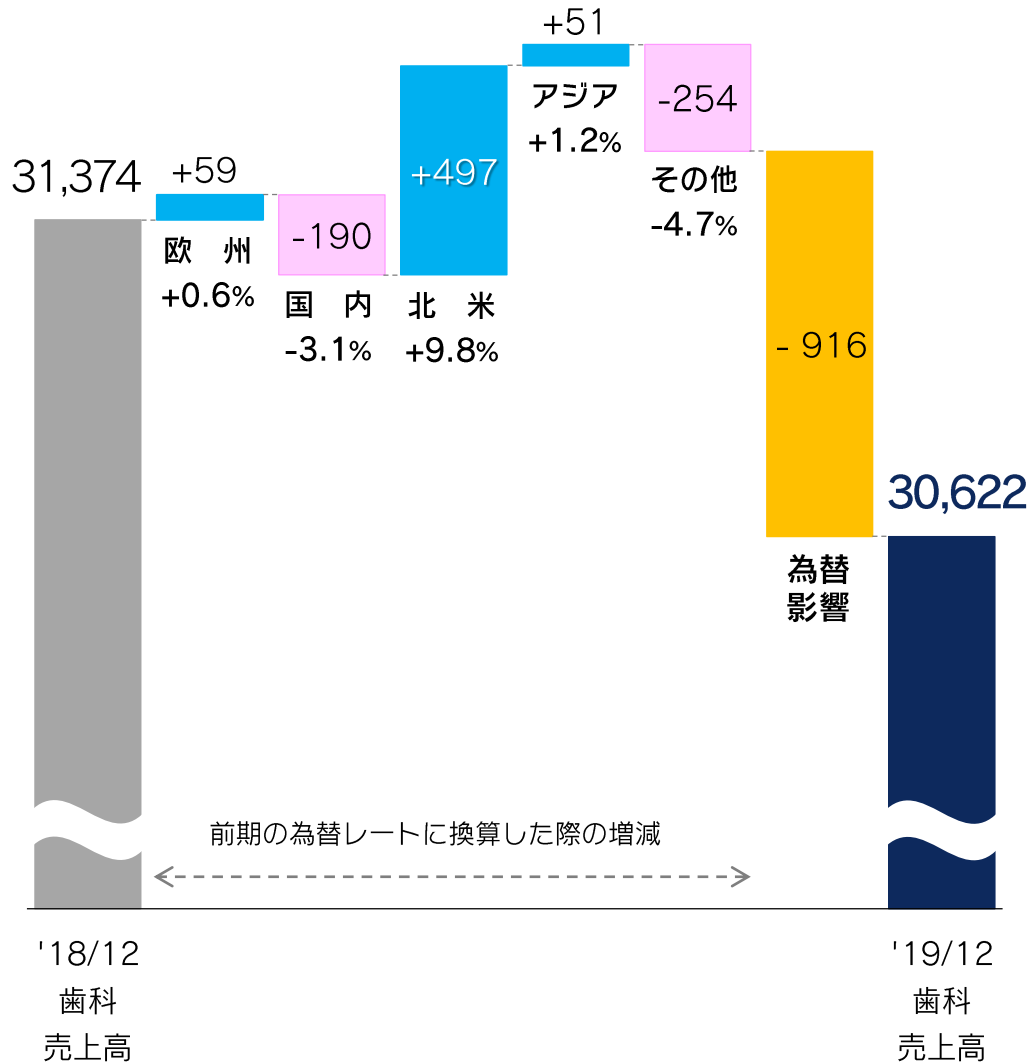
百万円



▶ 事業セグメント別連結売上高

	前期実績 2018/12	当期実績 2019/12	増減額
歯科製品関連	31,374	31,538	+163
工業製品関連	3,818	3,391	-427
その他	1,350	1,438	+88
為替影響	—	-950	-950
合計	36,543	35,418	-1,125

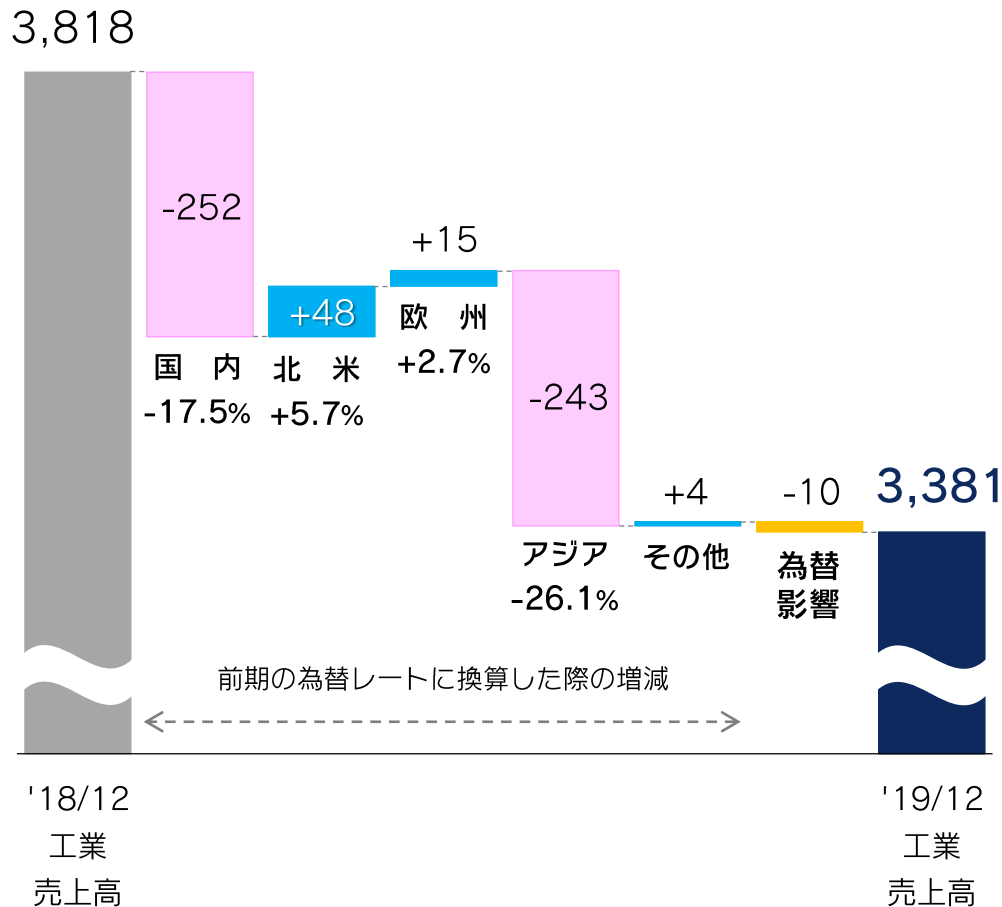
百万円



▶ 歯科製品関連・地域別連結売上高

	前期実績 2018/12	当期実績 2019/12	増減額
欧 州	10,225	10,284	+59
国 内	6,151	5,960	-190
北 米	5,072	5,570	+497
ア ジ ア	4,471	4,523	+51
そ の 他	5,454	5,200	-254
為 替 影 響	—	-916	-916
合 計	31,374	30,622	-752

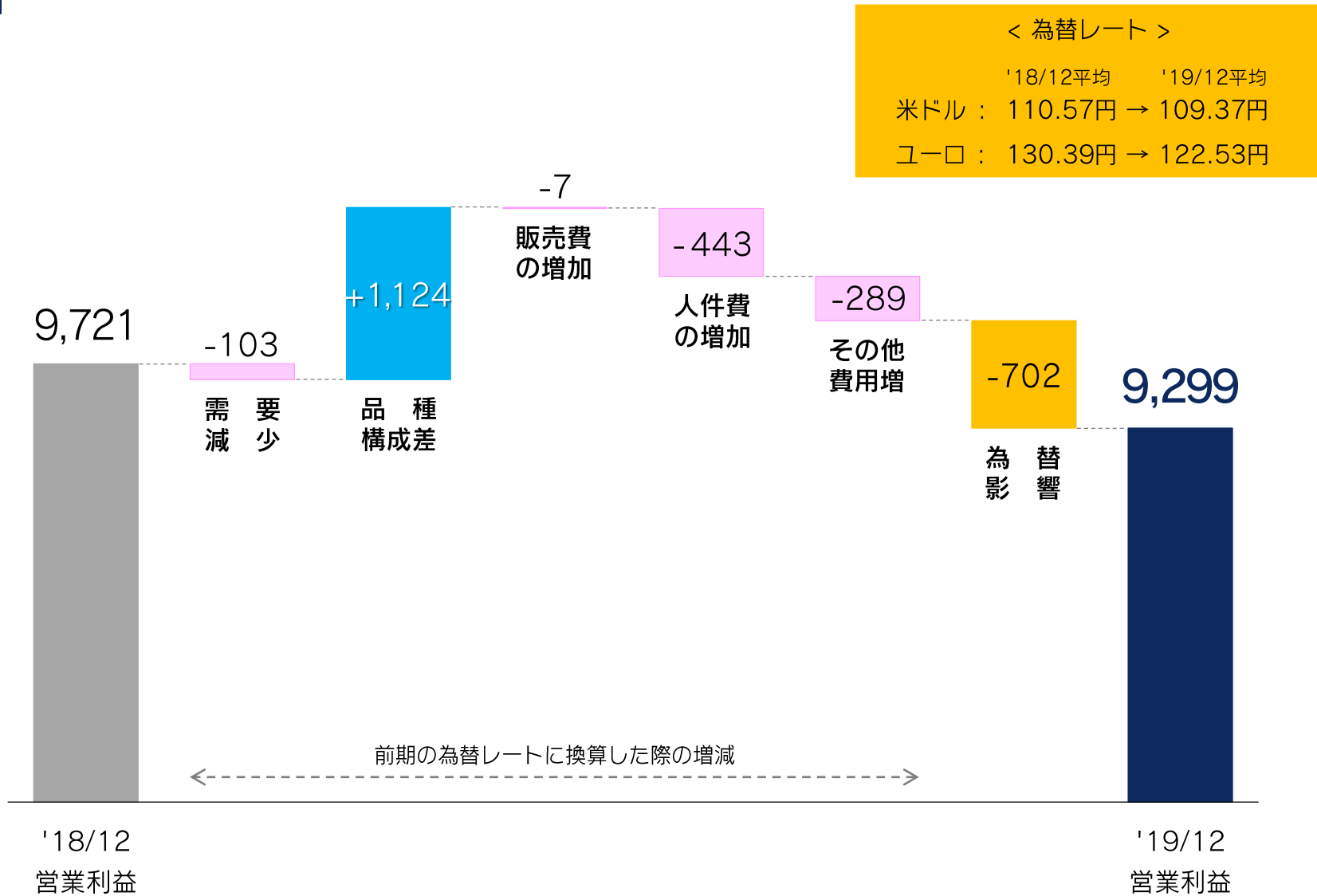
百万円



工業製品関連・地域別連結売上高

	前期実績 2018/12	当期実績 2019/12	増減額
国内	1,445	1,192	-252
北米	852	900	+48
欧州	585	601	+15
アジア	933	690	-243
その他	2	6	+4
為替影響	—	-10	-10
合計	3,818	3,381	-437

百万円



百万円	当期末 2019/12	前期末 2018/12	増減額	増減内容
総資産	77,536	73,273	+4,263	・現金及び預金 +619 ・有価証券 +617 ・投資有価証券 +3,394
- 受取手形及び売掛金	5,184	5,048	+136	
- 棚卸資産	10,538	9,494	+1,044	・商品及び製品 +263 ・仕掛品 +760 ・原材料及び貯蔵品 +20
負債	5,037	6,144	-1,107	・未払法人税等 -1,487
- 有利子負債	100	100	—	
純資産	72,499	67,128	+5,371	
- 利益剰余金	73,666	69,336	+4,329	
自己資本当期純利益率 (ROE)	10.2%	11.7%	-1.5pt	
総資産経常利益率 (ROA)	13.1%	15.0%	-1.9pt	

	当期実績 2019/12	前期実績 2018/12	増減額	主な内容
設備投資額	1,534	2,961	-1,427	前年同期 (2018/12) : A1関連 1,910
減価償却費	1,684	1,522	+161	

百万円

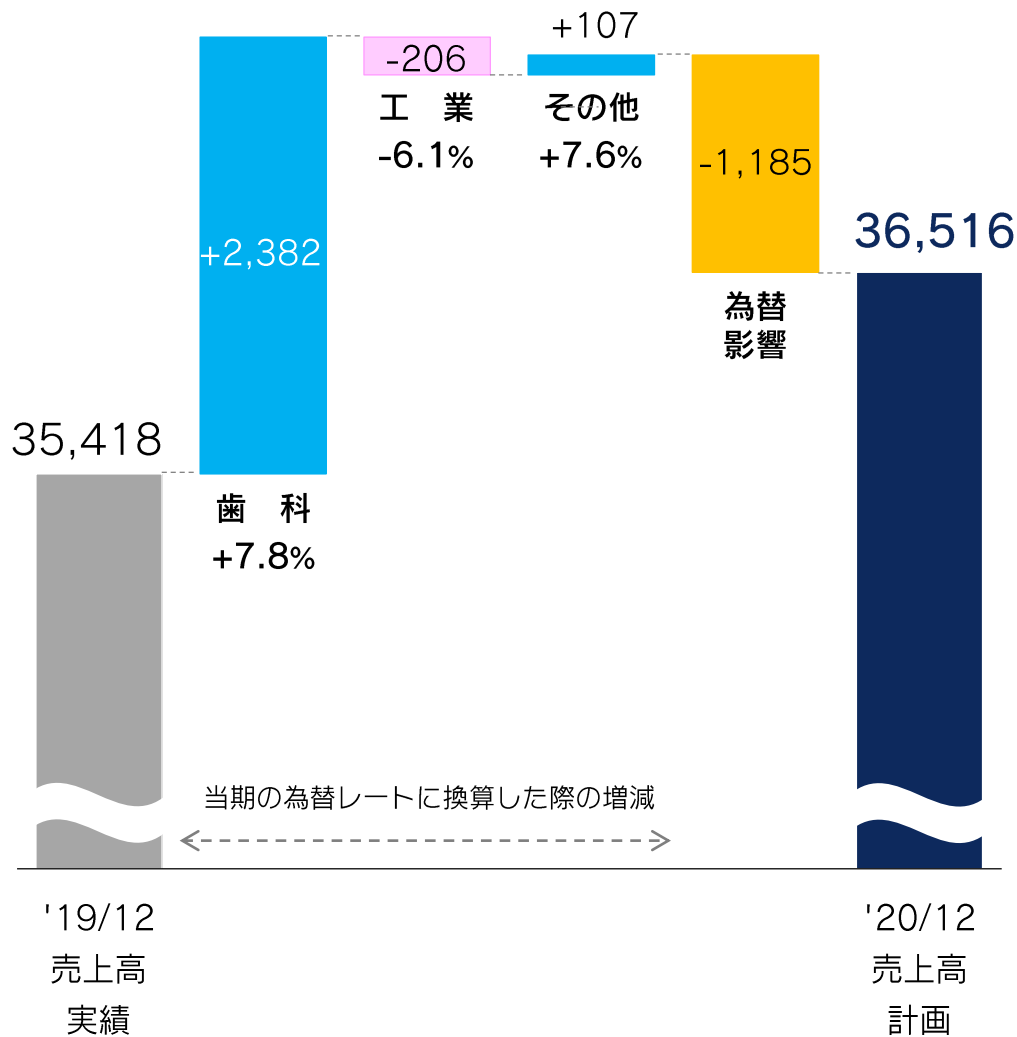
		国内	輸出計	欧州	北米	アジア	その他	合計	
歯科製品関連	2018/12実績	6,151	25,223	10,225	5,072	4,471	5,454	31,374	
	2019/12実績	5,960	24,661	9,741	5,510	4,364	5,044	30,622	
	前期比	増減額	-190	-562	-483	+437	-106	-409	-752
	増減率	-3.1%	-2.2%	-4.7%	+8.6%	-2.4%	-7.5%	-2.4%	
工業製品関連	2018/12実績	1,445	2,373	585	852	933	2	3,818	
	2019/12実績	1,192	2,188	601	891	690	5	3,381	
	前期比	増減額	-252	-184	+15	+39	-243	+3	-437
	増減率	-17.5%	-7.8%	+2.7%	+4.6%	-26.1%	+178.0%	-11.4%	
その他	2018/12実績	785	564	172	245	136	10	1,350	
	2019/12実績	826	588	180	250	142	15	1,414	
	前期比	増減額	+40	+23	+8	+5	+5	+4	+64
	増減率	+5.2%	+4.2%	+4.9%	+2.1%	+4.2%	+43.9%	+4.8%	
合計	2018/12実績	8,381	28,162	10,982	6,170	5,541	5,467	36,543	
	2019/12実績	7,979	27,438	10,522	6,652	5,197	5,065	35,418	
	前期比	増減額	-401	-723	-459	+481	-343	-401	-1,125
	増減率	-4.8%	-2.6%	-4.2%	+7.8%	-6.2%	-7.3%	-3.1%	

2020年12月期

連結業績の計画

百万円		2020/12 計 画	2019/12 実 績	増 減	説 明
売 上 高		36,516	35,418	+3.1%	
売上総利益		21,554	21,762	-1.0%	
	利益率	59.0%	61.4%	-2.4pt	
営 業 利 益		8,339	9,299	-10.3%	
	利益率	22.8%	26.3%	-3.4pt	
経 常 利 益		8,662	9,841	-12.0%	
	利益率	23.7%	27.8%	-4.1pt	
親会社株主に帰属する 当期純利益		6,084	7,102	-14.3%	
	利益率	16.7%	20.1%	-3.4pt	
E P S	(円)	70.22	81.97	—	
設 備 投 資		2,000	1,534	+466	
減価償却費		1,912	1,684	+228	
想定為替レート					
- 米ドル	(円)	105.00	109.37	-4.37 (円高)	為替感应度: 1円で年間売上高80百万円変動
- ユーロ	(円)	115.00	122.53	-7.53 (円高)	為替感应度: 1円で年間売上高75百万円変動

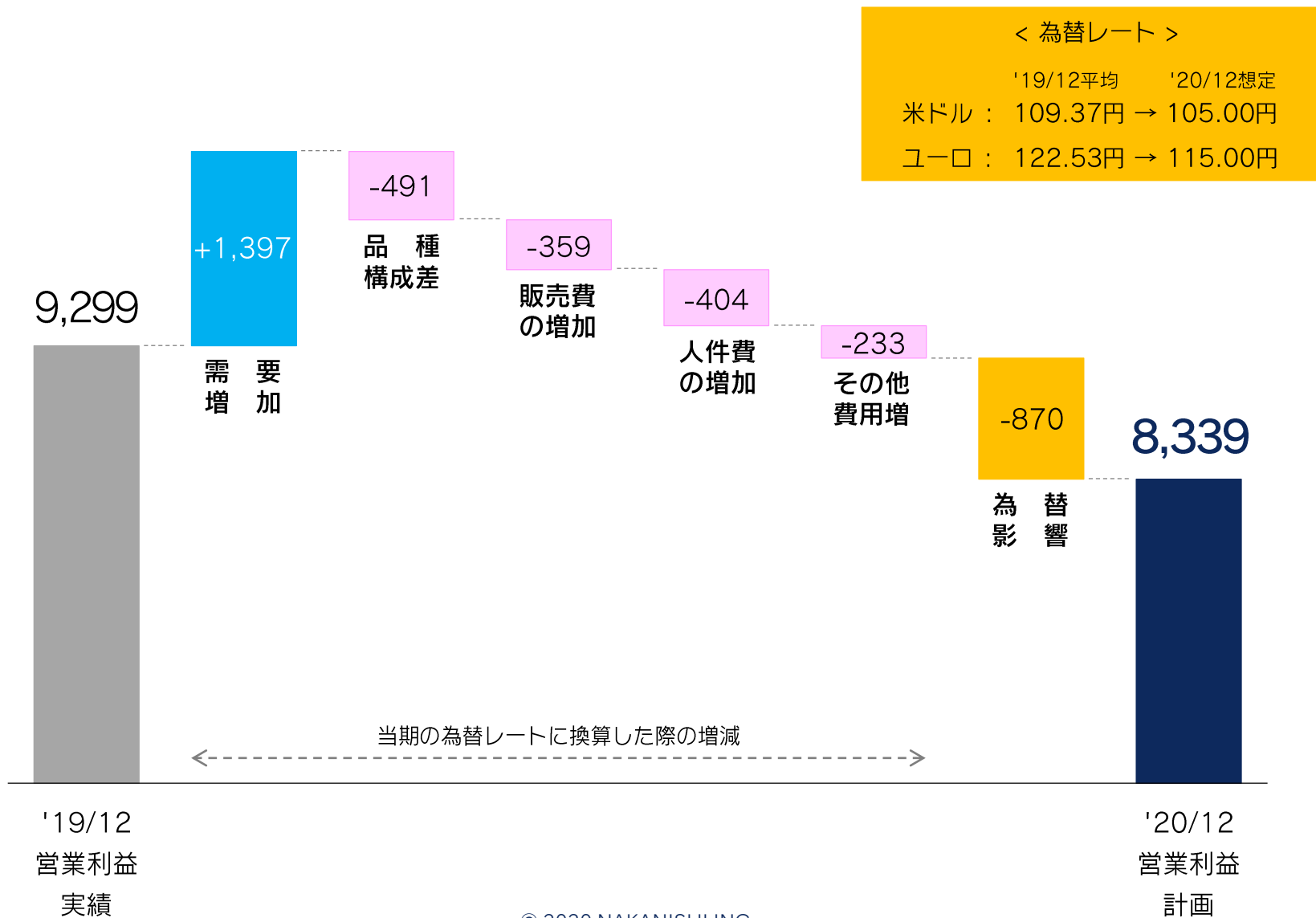
百万円



▶ 事業セグメント別連結売上高

	2019/12 実績	2020/12 計画	増減額
歯科製品関連	30,622	33,004	+2,382
工業製品関連	3,381	3,174	-206
その他	1,414	1,522	+107
為替影響	—	-1,185	-1,185
合計	35,418	36,516	+1,097

百万円



市場の状況と今後の施策

2019年 概況・実績

2020年 想定シナリオ

欧州市場

- ① 2019年実績レート
1ユーロ：122.53円

- ① 欧州主要各国の経済減速がより鮮明に
② 2020年想定レート 1ユーロ：115円

北米市場

- ① 2019年実績レート
1ドル：109.37円

- ① 米国経済は底堅く推移し、歯科製品関連市場もフラット
② 2020年想定レート 1ドル：105円

その他

- ① 中国経済はスローダウン
② ロシアは堅調に推移
③ 中近東は地政学リスク続く

- ① 経済減速に加え、新型肺炎の感染拡大に伴う負の影響拡大
② ルーブル安の影響残るものの、デンタルマーケットは堅調
③ イラン、シリア等、地政学リスク顕在化で需要減退

2020年想定シナリオ

歯科分野

- よりプライスオリエンテッドなマーケットが続く
- インプラント・予防歯科市場の継続的成長見込む
- 欧米中心に個人経営からグループ経営へのシフト

工業分野

- 中国・国内の需要低迷、自動車分野にも影響及ぶ
- 生産設備へのロボットアプリケーション提案強化

メディカル分野

- 欧米大手メーカーとの競争続く
- 新製品の投入をテコに販促強化

医療機器メーカーとしての攻めと守りの
経営を推進し、安定的事業基盤を堅持

Focus

集中

開発力の増強・深掘り
北米における事業拡大
ITインフラの強化

Enhancement

強化

回転技術・超音波技術の深化・展開
生産キャパシティ拡大・生産性向上
No.1のアフターサービス提供

長年積み上げてきた強みを磨き上げ、
より高い顧客満足の獲得

ダントツ
グローバル
No.1
メーカー

歯科製品関連事業の概況

欧州各現地法人が健闘し、NSKブランドの販売が伸長



フランス展示会 2019 (パリ)

2019年・概況

- 新製品Mタービン・コントラ効果もあり各市場の販売堅調。特にドイツ向け伸長
- 主要OEM先の在庫調整続き、販売軟調

2020年・施策

- 新製品「S-Max Mシリーズ」を核としたハンドピース製品の拡販
- 新製品「Surgic Pro2」を今年半ばに上市インプラント関連製品の底上げ



インプラント用マイクロモーター

Surgic Pro2

- 操作性・安全性・ワイヤレス接続性を大幅アップ
- 世界最小・軽量のマイクロモーター
- 操作性を高めた斬新なデザイン
- ワイヤレス接続性の拡張（Bluetooth）
 - フットペダル
 - Osseo100+（インプラント安着度測定器）
 - VarioSurg3（超音波・骨切削器）
 - iPad等、タブレット端末



インプラント手術の一連の動作をシームレスに行うことが可能に。
併せてインプラント手術ログをiPad等で一元管理・保存が可能に。

自社ブランド製品が好調で市場シェア拡大、OEMビジネスも復調



NSKアメリカ・マーケティング責任者と
米国女性歯科医師会・会長

女性歯科医に訴求する「nano95LS」

2019年・概況

- 現地体制強化とマーケティング施策が奏功し、自社ブランド販売が伸長
- 米国女性歯科医師会の製品コンテストで、当社製品「nano 95LS」が優勝
- 主要OEM先への販売が復調し、増収に

2020年・施策

- 積極的なマーケティング施策を継続し、自社ブランドのさらなるシェア拡大を図る
- OEM先との連携強化、在庫リスクを管理

東南アジア諸国は堅調に推移したものの、中国市場が弱い



台湾展示会



代理店向け修理トレーニング（ミャンマー）

2019年・概況

- 中国：上半期落ち込みを補填できず減収に
- 韓国：不買運動の影響は限定的。OEM堅調
- その他：地域差あるものの、概ね計画通り着地

2020年・施策

- 中国：総代理店との契約解消。本年1月から現地法人NSK上海による直販開始
新型肺炎問題で、立ち上がりに遅れ
- 韓国：OEMビジネスの維持・強化
- その他：地域密着型の営業活動を展開

新製品拡販により下半期巻き返し、自社ブランド販売は前年並みに着地



東京デンタルショー2019

2019年・概況

- 代理店：新製品Mタービンで販売巻き返し、年間売上高は前年並みに着地
- OEM：供給先の在庫調整続き、販売減

2020年・施策

- Mタービンを核としたハンドピース拡販でさらなる市場シェア拡大を図る
- 製品競争力の高いオーラルケア製品の拡販
- NSKアカデミーを中心に、年間100回超のイベントを開催。ブランディングを推進



ブラジル展示会 (サンパウロ)



UAE展示会 (ドバイ)

2019年・概況

- 中南米：入札案件減、OEM先の在庫調整等で苦戦
- 中近東：経済制裁や地域紛争等で需要減退が続く
- ロシア：主要代理店の在庫改善で大幅増収に
- 豪州：市場競争は激しくなる中、増収基調を維持

2020年・施策

- 中南米：好況ブラジルに引き続き注力、中米の深耕
- 中近東：政情不安からの購買意欲減退が続く
- ロシア：現地法人化し、現地修理サービスを開始
- 豪州：ハンドピース、訪問診療ユニットの拡販

工業製品関連事業の概況

米中貿易摩擦の影響大きく、中国および国内市場が大幅減



メカトロテック2019（名古屋）



機械要素技術展（大阪）

2019年・概況

- 米中貿易摩擦問題により、主力の国内および中国市場の需要が大きく減退
- 体制整備を終えた米国や、新規代理店を獲得した欧州では販売伸長

2020年・施策

- 各市場ともに生産設備等への投資意欲が減退しており、先行きは厳しい状況
- 就労人口減少に伴う「生産現場の自動化」など社会的ニーズを捉えた提案活動に注力
- 動画資料等、販促ツール整備を推進

メデイカル事業の概況

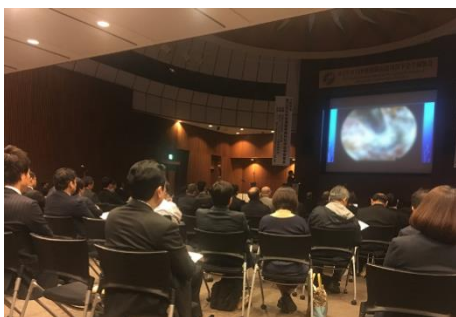
厳しい市況の中、アジアや中近東で販売伸ばし、前年並みに着地

2019年・概況

- 日本：「Primado2」は販売を伸ばしたものの、新製品効果が一服した「Primado Air」の販売減
- 欧州：競合他社による激しい価格攻勢があったものの、前期並みに着地
- 北米：前年好調だった北米市場は反動減に。OEM供給先との連携強化により販売を下支え
- アジア：主力の中国市場、インド市場開拓で苦戦したものの、アジア諸国向け販売が伸長し、増収に

2020年・施策

- 日本：新製品を起点とした販促活動の強化、KOLとの連携強化による市場の深堀
- 欧州：欧州の薬事規制強化への確実な対応と、新製品を起点とした代理店連携の強化
- 北米：現場ニーズへの対応力強化、代理店連携による個別大型案件のフォロー強化
- アジア：中国ビジネスの基盤再構築、インド市場専任化による市場開拓強化



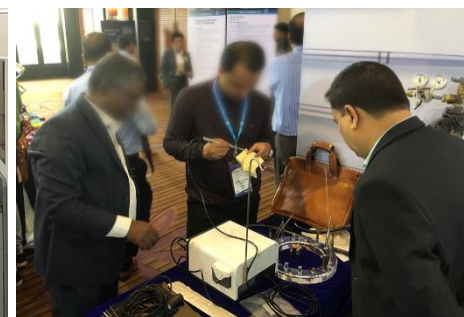
日本低侵襲脊椎外科学会
モーニングセミナー
(国内)



脊椎内視鏡下手術手技認定
ハンスオンコース
(タイ)



米国Cochlear本社における
人工内耳ハンスオンコース
(米国)



インド脳神経外科学会
「NISCON」における製品展示
(インド)

Primado 2

脳神経外科・整形外科などで使用する電動式骨手術用機械



P300アタッチメントシリーズ

スリムアタッチメント300

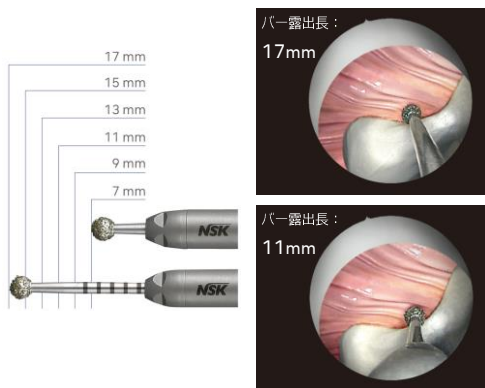
定評のある骨切削用ドリルの回転安定性はそのままに視認性・操作性・安全性の向上に寄与する機能を搭載

内視鏡下等「低侵襲手術」に有用なアタッチメントラインナップ拡充
特に脊椎内視鏡領域への対応力向上で、ビジネスチャンスが拡大



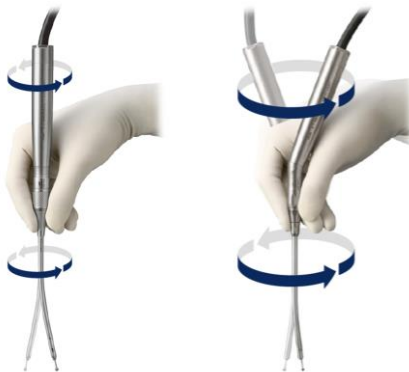
視認性の向上

先端形状の改良と露出長可変バー機構を採用し、視認性が向上



操作性の向上

アングルタイプその他、ストレートハブを用意 指の回転のみで狭いスペースにアクセス



安全性の向上

2種類のバープロテクター装着可能 手術中の周辺組織の巻き込みを防止



NSK